



季節のお手入れや豆知識をまとめた、ニュースレター

カビ警報発令中



長かった梅雨が明けてから、高温多湿が続いた今年の夏。カビ発生条件がそろった年でした。毎年秋風が吹くころになるとカビ被害の相談が増えてくるのですが、今年の秋は例年以上に多くなる予感がしています。

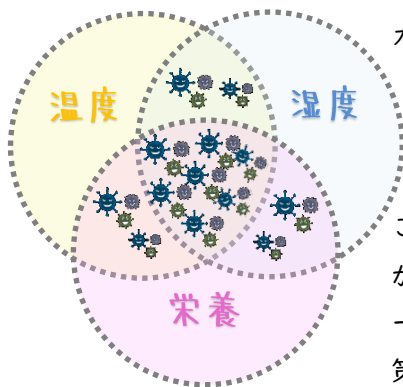
水回りのカビ対策をしている方は多いのですが、衣類の収納場所はどうでしょうか。こまめに点検していますか？思わぬところにカビが発生しているかもしれません。お店でもすでに何件も相談を受けています。今年共通しているのが「今までこんなことになったことないのに…」という、みなさんの戸惑い。「まさか!？」と思うような場所で、カビが発見されています。我が家では夫の革のサンダルが被害に…。通気性のいい棚に置いていたので、すっかり油断していました。お手入れ後に保管してあるものでも、湿度が原因でカビが生えてしまうことがあります。過去には、24時間換気しているウォークインクローゼット内でのカビ被害報告もありました。みなさんも「うちは大丈夫!」と思わずに、一度しっかりと点検してみてください。そのうちクリーニングに…と、まとめて袋などに入れて部屋の隅に置いてあるシーズンオフの衣類も要注意！汚れのある所に付着したカビは、生地の変色や劣化の原因になってしまうことも。発見したら、お手入れを急ぎましょう。

すぐに点検を!

- クローゼットの中
- タンスの引き出し
- 押入れの奥・隅
- 下駄箱の中
- 箱に入れた靴・靴
- 保管中のふとん
- 開け閉めしない所

※湿気は下の方にたまりやすいもの。1階にある納戸や、たんすの下段などよく確認してみてくださいね。

温度×湿度×栄養=カビ大喜びの法則



カビの繁殖が最も活発になるのは、

- ・温度 20~30℃(0~40℃でも繁殖はする)
- ・湿度 80%以上
- ・栄養 (人の垢、食べかす、ホコリなど)

このように条件が重なったときです。条件が重ならないよう温度や湿度をコントロールし、汚れを放置しないこと=カビ対策ということになりますね。

カビのついた服を見つけたとき、どうしますか？除菌スプレーを使って処理することもあるかもしれませんが、中には衣類を脱色させてしまうものもあるので、注意が必要です。使用時には注意書きをしっかりと確認するようにしましょう。使って大丈夫かな？と不安な時は、スタッフにご相談ください。



営業案内 (赤い日はお休みです)

9月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

OPEN*8:00-CLOSE*19:00

※お休みや営業時間に変更になることがあります

レジ袋の有料化が始まり、約2か月。エコバッグを持っている人が本当に多くなりましたね。食品を入れるエコバッグは肉や魚の汁がついたりして、意外と汚れやすいものです。定期的に洗って、清潔を保ちたいですね。レジ袋をもらう機会が減り、生ごみの処理など困っているという方も。私はパンの袋や商品パッケージの袋などを捨てずにとっておいて使っています。クリーニングの衣類にかかっているビニールカバーも、上を結ぶと袋に変身！身近なものを再利用してエコな暮らしを。



異例ともいえる夏が終わろうとしています。何もかも中止になった夏。会いたい人に会えなかった夏。来年は、笑顔で過ごせる夏になりますように！明るい未来を夢見て、前を向いて進んでいきましょう。